

# 岐大通 2011



## today's guest

### 湘南ベルマーレ

2010 J1 第18位  
J2通算対戦成績 : 0勝 4分 2敗

2009成績  
第0節 09/04/19 湘南 2-2岐阜  
第2節 09/06/14 岐阜 2-2湘南  
第3節 09/09/06 岐阜 1-1湘南

## 2011J2 順位表 第1節 変則

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視点)

1	千葉	19p	+9	15	6
2	鳥栖	16p	+9	14	5
3	栃木	16p	+7	15	8
4	徳島	16p	+1	10	9 H
5	湘南	15p	+8	11	3
6	熊本	15p	+3	7	4 A
7	愛媛	13p	+1	10	9 A
8	北九州	13p	-3	7	10
9	FC東京	12p	+1	8	7
10	草津	12p	-1	10	11
11	札幌	10p	-1	5	6
12	東京V	09p	+2	9	7 H
13	大分	09p	-1	8	9 H
14	鳥取	09p	-1	4	5
15	水戸	09p	-5	6	11 H
16	富山	08p	-1	7	10 A
17	岡山	08p	-6	8	14
18	京都	05p	-6	5	11
19	横浜FC	04p	-6	6	12 A
20	岐阜	04p	-4	5	13 --- ---

## 次回 HomeGame

第1節  
コンサドーレ札幌戦

6/19(日) 18:00  
@岐阜メモリアル  
センター長良川競技場

## 投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)  
6/4号  
編集発行:『岐大通』製作委員会  
今号の製作担当: ささたく & 吉田鑄造

編集子より  
ご愛顧いただきありがとうございます。  
今シーズンも「全ホームゲーム」での  
発行を目標にしますので、よろしくお  
願い致します。

2011 J.League Division2 第15節 湘南ベルマーレ戦  
6/4(土) 19:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

## 残念ながらいまだに壊れたまま...。 岐阜 0-2 徳島【第13節】

FC岐阜は長良川で徳島と対戦し0対2で敗戦。前半を0対0で終えたまでは良かったが、後半に立て続けに2失点で敗戦。苦しい時こそサポーターがチームに活力を。FC岐阜頑張れ!(ハマッチ)

こちら側から見てもはっきりわかるくらい、徳島の9番は足を滑らしバランスを崩していたのに、その選手にクロスをバッチリ合わされての失点。確かに、体勢を崩しても最後までボールから目を離さなかったからゴールに結びついたワケで、それは録画で確認したのだけれど、何というかそこまで余裕が持てるくらい「どフリー」な状況にしまったのが残念でたまらない。

今季よく見られる失点パターンではある。ただ、交代で出てきたFVをあそこまでフリーにしておいたら、そりゃあ決められちゃうよね? おまけに、徳島のベンチにはそういう元気な点取り屋が9番の他にも2人いて、その2人も交代で出場し、点を取るために前がかりにならざるをえない岐阜の裏のスペースを虎視眈々と狙ってくる。もともと、徳島のスタメンはそのほとんどがドコかでお目にかかった名前、あるいはプレーを見たことのある選手で、そればかりかサブのメンバーだってスタメンに勝るとも劣らない連中ばかり。だからといって、別に徳島サポがうらやましいとは思わないが、「いいよなあ~、美濃部さんはそれに比べ.....」と、ウチの監督には思わず同情したくなるような感じもしなくはない(苦笑)。

そんな徳島が相手だったせいか、「前半は良かった、とりあえず今季で一番。」そういう意見も見聞きしたが、それが意図したものなのか、はたまた徳島の思惑(後半勝負?)も絡んでの偶然の産物か。その辺の見極めは難しいような気がする。ただ、1対1の攻防で相手に抜かれそうになるのをファウルで止めて黄紙というのが2つもあると、どうしても後者のように思ってしまう。少なくとも、組織的に守備を構築できたようには見えないな。あと、先に書いた前半の2つも含めてムダなファウルが多すぎだ。でも、監督のここまでの起用法を見ている限りでは、累積による出場停止でもない限り、スタメン変えそうにないから、これがウマク転ぶかもしれないね(苦笑)。

それから、主審の判定には従うしかないけれど、後半橋本が倒されたヤツはアドバンテージを取ってほしかった。確かJリーグ的にもアドバンテージをしっかりと取る方向じゃなかったっけ? 次回からは、その辺ヨロシクお願いします。

そういえば、データの的にはシュート数もCK数もJ2上位にランクされてるそうだけど、得点の匂いは感じないんだよね。たぶん、相手にもそう思われてるんだろな。あわやのシュートも最後の和範ぐらいじゃないか? 相変わらずの、味方に優しくない雑なパスが決定機の芽を自ら摘んでる。どうしても、組織的な守備の意味と、それが出来たという根拠が見当たらない(苦笑)。

(右上へ)

とはいえ、ネガっててもしょうがないんで、ムリヤリいいコト、というかを希望の光を探すとすれば.....。三田の存在は今の岐阜には欠かせない。来てくれてホントよかった。90分使えないのはツライけど大事に使おう。相変わらずのキレがある秀人のオーバーラップ。ゴールへの匂いも感じられるが活かし切れず。周りの選手は、もっと目を配ってほしい。あと、押谷体調は万全なのか? 彼の完全復活が岐阜のゴール量産には欠かせない。少しでも早く、昨季の出来を取り戻してほしい。そして、次回の長良川ではぜひとも勝利を! やっぱり、ホームで勝たないと元気が出ないよね? 選手もサポも。勝利を信じて、選手を盛り上げるために次節も現地で応援します!! (ぐん、)

この日は私用で(笑) 遠くに出掛けていて、飛行機でセントレアに着いて電車で岐阜に戻り、なんとかキックオフに間に合った...という忙しさ。だから、疲れたカラダにこの試合は堪えた。

前半はよかった、と思う。でも、それは「よかった、というだけ」であって、それで何か生まれたい生まれそうな気配があったり...というわけでは決してなく。徳島の豪華絢爛(当社比(笑))なサブメンバーを視たら、「こりゃあ前半良くて後半は保たないかもなあ...」と思ってたら、見事にその通りになってしまった。

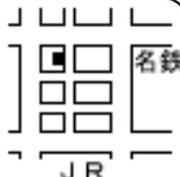
今年のFC岐阜の、あまりの「安定した『不安定ぶり』」を視て、「このチームはチーム練習ってのをやってるんだらうか?」と心配になる。個々の選手スキルにチーム戦術を足すことでサッカーは団体競技となる。で、現在のFC岐阜は個々の選手スキルで勝っていける選手層ではない。震災があったとはいえ、開幕から3ヶ月経ったのだから、そろそろ「チームにこれを足しました」という部分を提示して欲しい。

インターネットで、サポーターの意見として「この街に応援できるクラブがあることの幸せを噛みしめて、今後も応援する」という感じのを読んだ。すでにFC岐阜の商品は、その『存在』だけになってしまったのだろうか。「そうではない」と信じてます。いまのところは。(吉田鑄造)

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から  
徒歩3分。

休: 日曜日(今日は営業しています)



## ALADDIN

何も無い店だけど...  
心の花が咲く...  
何も無い店だけど...  
心癒される...

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

## 『決定的なミス』の多い方が敗れた。 愛媛FC対岐阜【第1節】

FC岐阜はアウェイで愛媛FCと対戦し0対2で敗戦。前半終了間際に痛い失点。先制点を取らないと苦しい。苦しい時こそサポーターがチームに活力を。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

愛媛FCとの対戦には、僕はいい記憶をほとんど持っていない。というか愛媛に勝ったことあったっけ?...と調べてみると、2009年にホームで1回だけ。敵地ニスタでは3戦して無得点だし、なんかツライ試合ばかりだったような...。しかも現在、FC岐阜は最下位でなかなか結果が出ていない。さて、今節の岐阜のスタメンは、攻撃陣には若干の変更が見られるものの、守備陣は前節と変わらず。これでどうなるのか...と、試合開始前は思っていたのだけど、序盤は岐阜が主導権を握っていた（と思う）。押谷のクロスから染矢のシュートや、押谷のプレ球のロングシュートが敵ゴールを襲うが、敵GKのファインセーブに阻まれる。愛媛のシュートも何度か枠を捉えるが、これらは村尾が阻む。お互いにミスをしながらかみ合の攻防(?)で、何とか前半は岐阜のペースで終わるかな...と思った42分に、それは起きた。愛媛に自陣に押し込まれたところで、こぼれたボールを永芳が不用意にバックパス。これを敵にかっさらわれてゴール前に持ち込まれ、そのまま失点。画面でもバックパスを出す前から「狙われてる！やばい！」とはっきり分かる動きだったので、失点シーンは正直、呆然とした。チームメイトもそうだったのではないだろうか。やってはいけない時間帯で・やってはいけない場所で・やってはいけないミス。永芳選手だけの責任では無いと思うが...前半はシュート数も上回り、押しただけに実に勿体ない前半の終わり方だった。失点すると、急に勢いが落ちてしまうのが、残念ながら今のチームの現状だ。後半、失点を取り返そうとするがミスが多くなり、何度も逆襲される。そして60分には右サイドを抜かれ、深い位置からGKの前にクロスが上げられると、逆サイドからドリフで駆け込んできた選手に2失点目を献上。ああ、似たような失点シーンを、今季何度見せられたらだろうか...。その後の試合は愛媛のペース。徐々に岐阜は運動量が落ち、足が止まりミスも増えてくる。しかも、後半最初から洗いが入って、途中からは優大が入って、しかも雨で濡れたピッチなのに、何故か足下の細かなパスを繋ごうとするが、パスの精度が悪いので攻撃にリズムや勢いが出てこないし、そのパスを奪われてカウンター...の繰り返し。決定機での相手のミスや村尾のビッグセーブに助けられるも、結局そのまま試合終了。

これで、引き分けを挟んで4連敗となってしまった。選手達が自信を失っているのは想像に難くない。縦への突破・敵陣深くまで切り込むショートカウンターがこのチームの持ち味だと思うのだが、自信がないため（あるいは逆襲を恐れて）なのか、ここ数試合は左サイドの染矢が切り込むぐらいで、後は殆どアーリークロスが足下へのパスが多い。しかも攻撃時はサイドに寄ってゴール前に人数がいらないから決定機が少なく、守備時は中央に固まっているからサイドを挟まれる。また、（開幕戦は違った気がするのだが）奪われたボールを追い続けてスタミナを消耗するのか、今年のチームはなかなか90分間走り切れない。実際、カウンターされているのに全力に戻っていない（戻れない）場面や、他人任せのプレーが見られるのも問題だ。こういった厳しい状況では、やはり思い切った選手起用やシステム変更(?)が必要ではないだろうか。木村監督はこれまでスタメン、特にDF陣をほとんど変更していない。組織的な守備にはチームとしての経験値が必要なのは分かるが、これだけ負けが続いて選手起用が変わらないと、（怪我ならともかく）スタメン以外の選手のモチベーションも下がってしまうし、スタメンにも甘えが出る。今はチーム内で競争をさせ、勢いを取り戻すことが大事なのではないだろうか。今節の相手は現在5位の湘南。厳しい試合になるだろう。しかし、だからこそ、選手には最後までひたむきに走り続け、闘い続けて欲しい。そして僕らの声や拍手が、自信を失いそうになる選手の背中を少しでも押す力になればと心から願うし、そう信じて声援を送りたい。（ささたく）

平日開催にも関わらず現地応援の皆様には大変辛い内容及び結果となってしまい、本当に残念です。組織として機能していないのは明白で、それが無得点と失点の結果に繋がり、モチベーションを下げスタミナ不足も重なって惨憺たる現状を作り出しているのではないのでしょうか？

悪循環のスパイラルに陥っている現状では、今までのスタイル（戦略戦術、練習方法、指導体制、選手起用含む全て）を見直すタイミングが来ていると考えます。子供達に夢をという理想は立派ですが、トップチームの選手達がひたむきさを感じさせるプレーを魅せ続ける事が何より大切ではないでしょうか？早急な立て直しを期待しています。（ミスター珍道）

2点目を取られた後から、タイム・アップの笛が鳴るまで、同じチャントをエンドレスで長回し。おかげで、終了後はしばらくしゃべれないくらいにバテてしまった。だけど、途中で間を空けてたら、その先声が出せたかどうか。カラダが動いてたかどうか。この試合、結果や内容はともあれ、選手は懸命に走り続けていた。それなら、こちらやりきらなきゃ。あの長回しを選んだコール・リーダーに感謝。あと、雨にも感謝かな？土曜や日曜のような降り方はなかったんで、ちょうどイイお湿り（笑）。カラダに熱が溜まることがなかったのはありがたかった。

ただ、試合自体はツラかったね。今までの試合と同じように、ミスからの失点。チャンスはあるのに決められない。先に点を奪われ、前がかりになって裏を取られてピンチを招く。攻める時、ボールは回してもゴール前に人がいないから、得点の匂いがしてこない。積もりにも積もる不満、苛立ち、もどかしさ。それは、現地にいようがTVで見ようが、同じように感じていることだと思う。先ほど、録画を見終わったけど、前半途中までは岐阜の時間。ニスタはちょっと見づらいスタジアムなんで、あれほど攻め込んでいたとはわからなかったが（苦笑）逆に、村尾のビッグ・セーブはしっかり見た。少なくとも、3点は防いだんじゃないかな？それだけに、先制点のキッカケとなったゴール前のあのミスはもったいない。バックパスの緩さ。相手が迫っていることを伝え切れなかったコーチング。双方とも今後はこんなミスをなくしてほしい。

2点差シャットアウトだったけど、愛媛も決してイイ出来じゃなかった。両チームともミスが多かった。ただ、より多くミスをした方が、決定的なミスをした方が負けた。そして、不調でも、ミスをして、2点を取った愛媛の執念が上回った。そんな試合。それだけに悔しい。そして、いまだ続くニスタ無得点記録。来年こそは、こんなしょっぱい記録を打ち破りたいね！（ぐん、）

## 【ユース】 2次リーグ1回戦突破！

我らがFC岐阜ユースU-18（以下「岐阜ユース」）は5月29日（日）に「日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会」の2次リーグ1回戦の試合を戦いました。相手はHonda FCユース。1次リーグで1対2で惜敗している相手です。

残念ながらこの日は観戦出来ませんでしたが、結果は3対1で勝利！外出先で結果を知った時はテンション上がりましたね（笑）。

次はいよいよ名古屋グランパスユースと対戦します。キックオフは6月5日（日）14時半。場所は磐田市の「ゆめりあサッカー場」。東海地区からは上位2チームが全国大会に出るので、勝てば全国大会です！名古屋グランパスユースは2006年と2008年には高円宮杯U-18で準優勝しており、今年から創設されたU-18プレミアリーグで全国レベルの舞台で戦っている、ユース界でも超強豪です。一方の我らが岐阜ユースの現在の所属はU-18プレミアリーグを1部とする6部に相当する岐阜県東部のG3リーグ。客観的に見ると名古屋グランパスユースというのは大きな壁である事は十分承知しています。でもサッカーは試合をやってみないと判らないスポーツ。是非十分な準備をして試合に挑んでもらいたいです！（だから今日は絶対に運営の手伝いなんかするなよ。苦笑）さあ、ジャイアントキリングを起こそうぜ！！FORZA! FC岐阜ユース!!（シュナ）



本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>